

東み建第 278 号

平成20年10月20日

国土交通省道路局長 殿

徳島県東みよし町長 川原 義朗



「今後の道路行政についての意見・提案」について（提出）

今後の道路行政について意見・提案書を提出しますのでよろしくお願いいたします。

1. 道路管理の充実、高齢化する道路ストックが増大する事を踏まえ、道路網の安全性及び耐久性を確保するため適時適切な修繕等を行える予算の確保。
2. 災害防除性の高い道路整備、地震や豪雨時の土砂崩れ等の斜面对策の推進。
3. 交通事故対策、通学路を中心とした歩車道の設置や、高齢化社会に対応した、バリアフリー化等の整備、踏切の安全対策、国道等への安全なアクセス。
4. 地方は公共交通が不十分で、移動手段が車に限定される地方の実情を踏まえ「生活幹線」の整備を推進する。
5. 地域の産業活動を活性化するため、ネットワークとしての高速道路整備、四国8の字ネットワークや暫定2車線の4車線化を推進し、救急医療や災害時の緊急輸送のための「命の道」の整備ともなります。
6. 個性的な地域づくりが出来る、「地方道路整備臨時交付金事業」や「まちづくり交付金事業」の更なる拡充と地方負担の軽減。
7. 高速道路利用料金の引き下げの恒久化による既存高速ネットワークの効率的活用の推進。
8. 国、直轄事業の地方負担金の軽減。

今後の道路行政についての意見・提案

②－１地域の現状と抱える課題

様式 ②

徳島県 東みよし町

○現状	○課題
本町の幹線道路網は、四国縦貫道を基軸に吉野川を挟んで南に国道 192 号線，北に主要地方道鳴門池田線が走っており，県道三加茂三好線（三三大橋）で結ばれている。	これらの路線では交通量が増大しており交通安全施設（歩車道や右折車線等）の増設による安全性の確保，猪鼻道路の着工に伴う国道 32 号へのハイパス建設等が課題となっている。
このほか県道芝生中庄線・出口太刀野線・昼間辻線がそれぞれ東三好橋・角の浦大橋・美濃田大橋を経由し三好市三野，井川へ，また国道 192 号から南方向へは主要地方道三加茂東祖谷山線が栈敷峠を越えて三好市東祖谷へとつながっている。	これらの路線では美濃田大橋の架け替え，JR 交差の踏切部の改良や未改良区間の拡幅改良整備の促進が課題となっている。
町道の延長は 500km に達しており身近な道路として町民の生活を支えています，まだまだ幅員が狭く，子供や高齢者が安心して通行できる道路はほとんどありません。路面や側溝等の整備，橋梁等重要構造物の点検補修と維持管理面もほとんど対応ができない状況です。 また，山間部を通過する町道では豪雨時に路肩の崩落や落石等の危険箇所が多数点在する。	町道については，このような状況を踏まえ，長期的・広域的視点に立ち，本町の一層の発展を見据えた道路計画を策定のもと，幹線道路から生活道路に至るまで，町内道路網の整備や維持管理を計画的に進めていく必要がある。

1. 四国中央の広域交流拠点として、機能の向上と町全体の発展可能性に向けた町内道路網の整備推進。
地域の活発な産業経済活動、観光事業などを支え、緊急輸送や救急医療にも必要な高速道路網の充実と、スマート IC へのアクセス道路の整備。
2. 幹線町道や通学路等の生活道路での、安全・安心な歩行空間や自転車利用環境の整備を行う
3. 豪雨等の異常気象においても安全で信頼性の高い道路ネットワークを確保する。
4. 町を横断する、JR 徳島線の踏切箇所の改良や、道路の立体化による踏切除却を行う。
5. 高齢化する道路ストックに対し、安全・安心な道路サービスが確保できるよう、定期的な点検により予防保全を推進し計画的な長寿命化を図る。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

③道路施策の重点事項（代表事例，期待する効果や評価等）

徳島県 東みよし町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
幹線道路網の整備	日常の暮らしを支える生活幹線道路においてネットワークとしての機能や安全走行を確保するため現道拡幅やバイパスの整備を行う。 またスマート IC 流出入時の安全の確保やアクセス道の整備。	市部への通勤・通院時の交通安全や旅行速度を確保。 企業誘致への期待。	
安全・安心の確保	2. 国道や県道より町道への進入箇所での車のすれ違いに支障のある区間の解消や交差部での車の流れを阻害しないための右折車線の新設。鉄道交差部での踏切拡幅改良や、立体交差化の推進。 通学路や学校周辺道路に歩行空間や自転車走行レーンの創出。 また、山間部町道での豪雨時の土砂崩れ等による路肩崩落防止のための補強や斜面の安定化整備の推進。 橋梁等の定期的な点検や適正な維持管理の推進。	国道等や鉄道で分断された地域への安全なアクセスの確保。 子供や高齢者の交通事故を防ぎ安心して通行出来る道路を実現。 山間地域の通行の安全と被災による孤立化を防ぐ。 予防保全を推進し長寿命化を図る。	